



平成30年4月18日

各 位

株 式 会 社 関 門 海
代表取締役社長兼CFO 田中 正
(コード番号：3372 東証第二部)
問合せ先 経営支援本部部長 岩本 匡史
電 話 番 号 06-6578-0029 (代表)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年11月14日に開示した平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	5,000	275	200	100	8円51銭
今回修正予想(B)	4,725	197	125	34	2円89銭
増減額(B-A)	△275	△78	△75	△66	—
増減率(%)	△5.5%	△28.4%	△37.5%	△66.0%	—
(参考)前期連結実績 (平成29年3月期)	—	—	—	—	—

(注)当社は、平成30年3月期より連結決算に移行しておりますので、前期連結実績は記載しておりません。

2. 修正の理由

当社は、平成29年11月1日をもって持株会社体制に移行したことにより連結決算に移行しましたので、前期個別決算と事業内容に重要な変更はありません。

当期の連結売上高は4,725百万円を見込んでおります。これは業績予想を275百万円下回っておりますが、前期個別決算を15百万円上回る見込みとなっております。「天然とらふぐ」や「大とらふぐ」といった付加価値の高い商品の提供を強化したことが客単価向上に寄与したことに加え、インバウンド需要も依然好調であったことから、既存店売上高は前期比105.8%となりました。その一方で、繁忙期である1月の天候不順等による客数の伸長が想定を下回ったことに加え、エリアFCの出店遅れもあり、業績予想を下回る見込みとなりました。

当期の連結営業利益は 197 百万円を見込んでおります。これは業績予想を 78 百万円下回っておりますが、前期個別決算を 26 百万円上回る見込みとなっております。メニュー見直し等により原価率を 0.7% 下げ、店舗運営コストの抑制にも努めましたが、売上高の業績予想未達をカバーすることができず、株主優待引当金の計上開始等によるコスト増加要因もあり、業績予想を下回る見込みとなりました。

当期の連結経常利益は 125 百万円を見込んでおります。これは業績予想を 75 百万円下回っておりますが、前期個別決算を 71 百万円上回る見込みとなっております。連結営業利益未達に加え、中国資本との合弁で中国への進出準備を行っているものの、1 号店を予定している上海における出店候補地の速やかな決定が遅れ当期繁忙期までの出店が出来なかったことから進出を 1 年遅らせたことによる、持分法投資損益の未計上並びに開業準備費用の抑制等によるものであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は 34 百万円を見込んでおります。これは、業績予想を 66 百万円下回っておりますが、前期個別決算を 52 百万円上回る見込みとなっております。上記に加え、通期で店舗閉鎖等の特別損失を 68 百万円計上する見込みであること等によるものであります。

以 上